

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **350 億元！中国人民銀行 50 年物超長期国債がまもなく初発行**：財政部（財務省）が6日に明らかにしたところによると、同部は今年14日に2024年超長期特別国債（第3回、50年期）を発行することを明らかにした。価格競争入札による発行予定総額は350億元（1元は約21.7円）で、50年物超長期特別国債が発行されるのは今回が初めてとなる。同部が発表した国債発行スケジュールによると、今年には超長期特別国債が22回発行される予定で、20年国債が7回、30年国債が12回、50年国債が3回、発行時期は5月中旬から11月中旬まで。さきに初めて発行された30年物と20年物超長期特別国債は、いずれも市場で好評を博している。（6/11 人民網）
- **中国 1-5 月の全国の外資導入額は 4,125.1 億元**：中国商務部（省）のサイトによると、2024年1-5月には、全国で新たに設立された外資系企業は前年同期比17.4%増の2万1,764社となり、外資導入額（実行ベース。以下同じ）は同28.2%減の4,125億1,000万元（1元は約22.0円）だった。産業別に見ると、製造業の外資導入額は1,171億1,000万元で、全国の外資導入額に占める割合は同2.8ポイント上昇の28.4%となった。ハイテク製造業の外資導入額は504億1,000万元で、割合は同2.7ポイント上昇の12.2%。スマートデバイス製造業の外資導入額は同332.9%増、専門技術サービス業の外資導入額は同103.1%増だった。投資元国を見ると、ドイツからの投資が同24.2%増加し、シンガポールからの投資が同16.2%増加した（自由貿易港を經由して行われた投資のデータを含む）。（6/24 人民網）
- **李強総理が夏季ダボス会議外国商工界代表座談会に出席**：李強総理は25日午後、大連で開催された夏季ダボス会議2024の外国商工界代表座談会に出席した。李総理は商工界代表の発言に耳を傾けた後、「中国における外国企業の成功と中国経済の発展には密接な関係がある。中国経済の持続的な回復と長期的な成長、中国経済のモデル転換と高度化及び深い変革は、必ずや各国企業の成長に新たな広大な空間を提供するだろう」と指摘。「経済的活力の状況がどうであるかを見るには、企業の発展が鍵となる。我々は、見通しを改善し、信頼感を下支えすることから着手し、市場化、法治化、国際化された一流のビジネス環境の構築を堅持し、全国統一大市場の構築推進に力を入れ、各種経営主体の発展と成長を促進する。我々は高水準の対外開放を拡大し続け、市場参入をさらに緩和し、製造業分野における外資参入制限の完全撤廃をしっかりと実行し、サービス業の開放水準を絶えず高め、制度型開放を着実に拡大し、各国の投資家により多くの機会とより良い環境を提供する。各国の企業家が経済のグローバル化と自由貿易を揺るぎなく支持することを希望する。皆さんが中国に投資し、中国を深耕し、中国の質の高い発展によるメリットを分かち合うことを歓迎する」と述べた。（6/26 新華社、人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- **中国 4 月の自動車輸出は前年同期比 31%増の 55 万 6,000 台**：中国自動車流通協会乗用車市場情報連席分会が発表したデータによると、中国の今年4月の自動車輸出台数は前年同期比31%増、前月比13%増の55万6,000台だった。1-4月の輸出台数は前年同期比26%増の187万8,000台で、輸出額は同21.2%増の359億ドル（1ドルは約157.2円）。同期間の自動車平均輸出価格は1万9,000ドルで、

2023年の1万9,000ドルと比べほぼ横ばい。(6/12 人民網)

- **中国の5月のCPIが前年同期比で0.3%上昇 「年内は穏やかな上昇」キープか：**中国国家统计局は12日、5月の消費者物価指数（CPI）を発表した。前年同期比で0.3%上昇、前月比ではやや下落した。食品やエネルギーの価格を除くコアCPIは前年同期比0.6%上昇で、穏やかな上昇ペースを維持した。前月比で見ると、5月のCPIは0.1%下落した。下落幅はここ10年の同期の平均下落幅0.2%をやや下回った。5月、前月0.3%上昇だった非食品の価格は下落に転じ、0.2%下落だった。5月1日のメーデーに合わせた5連休後、移動関連の消費が落ち着き、航空券や交通機関のレンタル料、長距離バスなどの価格がさまざまな程度で下落している。光大銀行・金融市場部の周茂華マクロ研究員は、「今期のCPIは中国市場の需要が全体的にやや弱かったのに対して、市場の供給には十分な余裕があったことを反映している。ただ、客観的に見て、消費と不動産市場が回復し、供給を上回るようになるには、まだ一定の時間が必要だ。現状からして、物価が穏やかに上昇していることは、需要と供給がバランスの良い方向に向かって発展していることを反映している。年内の中国の物価は穏やかに上昇し続けると見られる」と分析している。(6/13 人民網)
- **5月の社会消費財小売総額、前年同期比3.7%増：**国家统计局は17日、同局の公式ウェブサイトで、5月の国民経済の運営状況を発表した。それによると、5月の社会消費財小売総額は前年同期比3.7%増の3兆9,211億元（1元は約21.7円）。うち自動車を除く消費財小売総額は同4.7%増の3兆5,336億元。1-5月、社会消費財小売総額は前年同期比4.1%増の19兆5,237億元で、自動車を除く消費財小売総額は同4.4%増の17兆6,707億元。1-5月、中国全土のオンライン小売額は前年同期比12.4%増の5兆7,669億元。うち実物商品は同11.5%増の4兆8,280億元で、社会消費財小売総額の24.7%を占めた。実物商品オンライン小売額のうち、食品は同19.6%増、衣料品は同9.0%増、生活用品は同10.8%増だった。(6/18 人民網)

【トピックス】

- 1、**中国ライブ配信業界、23年の売上は2千億元を突破：**2024中国オンラインパフォーマンス（ライブ配信及びショート動画）業界年次総会が19日、黒竜江省哈爾濱（ハルビン）市で開幕した。総会で発表された「中国オンラインパフォーマンス（ライブ配信及びショート動画）業界発展報告書（2023-24）」によると、中国の23年のオンラインパフォーマンス（ライブ配信）業界の売上は前年比5.15%増の2,095億元（1元は約21.8円）だった。抖音（中国版TikTok）、快手、微信視頻号という3つの総合動画コンテンツプラットフォームは、ユーザー数の多さという強みにより、動画配信者の数と業務量でリードし、業界の先頭集団を占めている。bilibili（ビリビリ）、YY、陌陌、虎牙などのプラットフォームは、コンテンツと対象ユーザー層に独自色があり、事業発展が上向きになりつつある。中国の営利性インターネット文化機関有資格市場主体は23年末の時点で、前年から約5,000社多い1万5,000社を突破した。ライブ配信及びショート動画業界はすでに、安定したユーザーを持つコンテンツ提供元及び消費先になっており、かつ長期的かつ安定的に発展する流れを見せている。(6/20 人民網)
- 2、**中国の5Gユーザーが9億人突破 5G基地局は383万ヶ所以上：**工業・情報化部（省）が24日に発表したデータによると、2024年5月末現在、中国の5Gユーザーは9億人を超え、5G基地局の総数は383万7,000ヶ所に達した。データによれば、1-5月には中国の電気通信業務の収入（実行ベース）が前年同期比3.7%増の7,387億元（1元は約21.9円）に達し、増加率は1-4月期を0.3ポイント下回った。不変価格で計算した業務量は同11.9%増加となった。今年に入ってから、中国の

携帯電話ユーザーの規模が安定的に増加し、5G ユーザーは 9 億人を超えた。5 月末現在、電気通信事業者 3 社と中国広電集団の携帯電話ユーザーは合わせて 17 億 6,300 万人に達した。そのうち 5G 携帯電話ユーザーは 9 億 500 万人に達し、携帯電話ユーザーの 51.3%を占めた。5 月末現在、中国の 5G 基地局は前年末より 46 万ヶ所多い 383 万 7,000 ヶ所に達し、携帯電話基地局に占める割合は 32.4%で 1-4 月期を 0.7 ポイント上回った。(6/25 人民網)

3、東風日産が常州工場を閉鎖 資源調整で新エネ分野を強化：日産グローバル本社はこのほど、「中国の常州工場を閉鎖する。同工場の年間生産能力は約 13 万台で、日産の中国における総生産量の約 10%を占める。同工場の生産業務は東風日産の他の工場へ移すことになる」と発表した。この件は広く注目を集めている。日産自動車の中国における合弁会社である東風日産は今年 24 日、取材に答える中で、「全体的な戦略とビジネス環境の変化を踏まえて、内部の生産能力と資源に対する最適化と調整を行い、企業のモデル転換・発展によりよく適応することを目指す。既存のガソリン車の生産能力を確保する前提の下、新エネルギー車の製造ラインの配置と開発の強化に約 100 億元（1 元は約 22.0 円）の資金を投入し、顧客のニーズによりよく応えていきたい」としていた。ここ数年、中国自動車産業で電動化の流れとスマート化の流れが勢いを増す中、合弁自動車メーカーの基盤が揺らいでいる。東風日産も例外ではない。こうした背景の中、東風日産は現地での開発力を強化し、新エネ方面の投資を拡大する道を選んだ。(6/26 人民網)

【2024 年世界スマート産業博覧会—人型ロボットが改めて注目を集め】

人型ロボットの普及が加速している。国際市場研究機関 Statistics MRC の予測では、2021 年から 28 年にかけて、人型ロボットの市場規模は 15 億-264 億ドル（1 ドルは約 159.7 円）に拡大し、19 倍近くまで増加するという。ここ数年、中国では人型ロボット技術の発展が続いている。工業情報化部（省）は「人型ロボットのイノベーション発展に関する指導意見」の中で、「人型ロボットはコンピューター、スマートフォン、新エネルギー自動車に続く革新的（イノベーション）製品になり、人類の生産スタイルと生活スタイルを大きく変えることが予想される」との見方を示した。

テスラ：テスラのイーロン・マスク最高経営責任者（CEO）はこのほど、「2025 年に人型ロボット『Optimus（オプティマス、中国名・擎天柱）』の限定生産を開始する予定で、同年には自社工場ではヒューマノイドロボットのテストも行う予定だ。人型ロボットはこれから産業の主力になり、その数は人類を超えて、100 億台から 200 億台に達するだろう」と述べた。

EX 机器人：中国国内の EX 机器人公司（エクス・ロボッツ）の共同創業者で総裁の李博陽氏が、「弊社は人型ロボットの量産をすでにスタートしている」と明かしている。美しい外観をした人型ロボット「小柒」は人間と双方向のやりとりができます。李総裁は「小柒は今、主に受付業務をしている。弊社は今年 5 月に小柒の量産をスタートしており、今年は 500 台が目標で、すでに数十台がラインオフした。主なクライアントはチェーン店舗や展示ホールを擁する規模の大きな上場企業だ」と説明した。



優必選：人型ロボット開発会社の優必選（UBTECH Robotics）の焦繼超副社長は、「大規模言語モデルの登場により、ロボットの理解力は極めて大幅に向上した。ロボットはより自然に人間との交流ややりとりができるようになり、複雑な操作は不要になり、ロボット自身の理解と推理に基

づいて、任務を正確に遂行できるようになった」と述べた。

(6/21 中国新聞網、6/24 人民網、写真元：SOHU&燃新聞)

【イベント】

【出展募集中】 FBC 上海 2024in PTC 伝動展 2024 年 11 月 5-8 日 上海新国際博覧中心

【出展募集中】 FBC 深セン 2024in NEPCON 電子展 2024 年 11 月 6-8 日 深セン国際会展中心

* (公財) 大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国 (上海) ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ (工場網信息科技 (上海) 有限公司)

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室